

■ 昨今の急激な変化に思う（事務局長 田代 周）

丁度1年前のこのシニアクラブ便りで、東京都議会議員選挙で小池都知事ひきいる「都民ファーストの会」が都議会第1党の議席を獲得し大躍進した、と書きました。

しかしその後9月に、小池都知事が「希望の党」党首として臨んだ総選挙では大敗し、与党に大きな影響を与える野党躍進の夢は一瞬にして潰れてしまいました。

それ以降、国会における野党の離散・集合で、来年の参議院選挙をひかえ、労組団体の支援候補が、どの党から立候補するべきか議論が繰り返されたようです。

今年6月には、それまで犬猿の仲であったようなアメリカ・トランプ大統領と北朝鮮・金委員長との会談が行われました。これで世界の平和安定が促進されるかと思いましたが、その合意結果についてどこまで実施されるのか不透明なところがおおいにあります。

しかし、この会合は昨年までは考えられなかったような出来事でした。

米・中の貿易戦争が勃発したようです。この両国の対立は世界の景気を左右させてしまう恐れがあります。大統領の思いつきで国を動かす米国と、第三国を金と力で支配しようとする中国。一人の思いつきや、不透明な国家運営が世界をリードするようになってしまうと、まさに何が起こるか分からない状態となってしまいます。

ある国際的なシンクタンクが発表した中に、世界ではこの一年で「テロ・暴動」の発生危険度が非常に高まっていると書かれています。世の中はそれだけ不安定な社会になってしまったということでしょうか。

7月には、西日本で集中豪雨による悲劇的な災害がもたらされました。ゲリラ豪雨という言葉が最近聞かされるようになったかと思いましたが、これはもう「ゲリラ」ではありません。「ゲリラ」を辞書で引くと、「奇襲する小部隊」とあります。

気象庁はあらかじめ「かつて無いほどの大雨」と予報していました。しかし、住民にしてみると、想像以上の大雨で、土砂災害も含めて大惨事となってしまったわけです。

更に、この真夏の暑さも記録づくめとなりました。天候も急激に変わってしまったようです。

話はまったく変わりますが、プロ野球ペナントレースが終盤に向けて白熱しています。

プロ野球球団オーナーの変遷をみると、日本の社会をリードする産業業種の変化を垣間見ることが出来るのではないのでしょうか。

かつての松竹、東映、大映などの映画会社、そして国鉄を初め阪急、阪神、南海、近鉄他、多くの鉄道企業が増え、現在は、楽天、DeNA、ソフトバンクなど流通・IT企業が加わってきています。今後、そこにゾゾタウンが食指を伸ばして参画してくるのかも知れません。

その昔、強打者の小鶴選手を擁した球団、「松竹ロビンス」が昭和25年にセリーグの覇者となり、爾来、私はひいきの球団として応援して来ました。

松竹ロビンスはその後、大洋ホエールズと合併し、現在の横浜ベイスターズへと歴史は引継がれています。

本文も、出だしは国内政治や世界情勢など論じていながら、最後は個人の野球の話で終わる、竜頭蛇尾。これも急激な変化ですかね。



■トピックス：今年が明治150年 来年、平成31年は4月末まで



今年、平成30年(2018年)は明治元年(1868年)から数えて丁度150年という節目の年です。国や全国各地の自治体ではこれを記念して様々な行事が推進されています。

左のロゴマークはそれらの行事推進の際にかかげられるものですが、国の許可を得て統一的に使用するよう定められています。

ここに記載するに当たっても、手続きを踏みました。

徳川幕府が長く鎖国政策を続け、日本国内では独自の文化を保ち、栄えてきてはいましたが、黒船来航で一気に海外に目が広がり、その体制が覆ってしまいました。

そして新しい時代「明治」となり、近代国家への道を歩み始めることになったわけです。

その後、様々な制度改革、意識改革もあり、鉄道などのインフラ整備も短期間の内に進められました。更に幾度かの戦争も経て新たな憲法の下に国は発展してきました。

そして現在、自由主義の下に世界でも有数の経済大国となっています。

この150年を改めて振り返り、これからの未来を考えてみたいものです。

ところで来年、平成31年は4月末までで、5月1日からは新しい元号に変わります。

新元号はどうなるのか、関心が高まりますが、「明治」はもとより、私たちの世代「昭和」も遠くなりにはけり、となってしまいますね。

■事務局から

(1) 昨年の総会で平成30年度は15周年を記念して「4回の記念事業」を行う旨ご案内しました。そして、昨年12月に「ヴァンテアン・クルーズ」、今年3月の「ハワイアンセンター宿泊旅行」、6月の「ゴルフコンペ」と実施してまいりました。あと一つ残った事業として8月30日(木)に「浅草ニューオリンズフェスティバル」を開催いたします。

シニアクラブの年度切り替えの都合から、これは平成31年度の事業となりますが、これで「満15周年記念事業」を完遂させたこととなります。

(2) 平成30年度の本部・支部の行事、全11回の開催で、参加会員は105名でした。リピート参加の方も多く、参加数は延べ239名となっています。この他に、寿会や外部サークルとの交流から参加された方も加えると、シニアクラブ行事への総参加者は延べ283名となりました。なお各地方JAMの行事に参加して外部の人たちと交流を深めた方もいますが、この数字に含めていません。ご参加いただきました皆様に感謝申し上げます。

それらの活動を含めて「平成30年度 活動の記録」を作成し、同封しましたので長く保存してご覧ください。更に詳しい内容がシニアクラブのホームページでご覧いただけます。

(3) 平成31年度総会案内 及び 年会費納入のお願い(同封の案内をご参照ください)

平成30年10月9日(火)開催の総会案内を別紙にて同封しました。今回は第17回目の開催となります。多くの皆様にご参加いただき、総会・懇親会を意義あるものにしていただきたいと思います。尚、同封の返信はがきの投函とともに、同封の振込用紙による年会費のお振り込みもよろしくお願いいたします。(振り込み料金は本部負担です)

事務局長 田代 周